守谷市地域包括支援センター運営協議会
R7－1（R7.5.16） 資料№1

令和６年度
守谷市南部地域包括支援センター実績報告

守谷市南部地域包括支援センター

【地域支援事業】

1 総合事業 介護予防・生活支援サービス事業

事業内容	計画	実績
介護予防ケアマネジメント	要支援者等に対する介護予防及び日常生活支援のためのケアプラン作成	チェックリスト該当者： 0 件 要支援者へのケアプラン作成 包括直営 15 件 委託 71 件 合計 86 件 ○ 委 託 先： 17 件 ○ 契約者数： 354 人 (令和 7 年 3 月末現在)

2 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）

事業内容	計画	実績
総合相談支援業務	① 相談業務	① 窓口・電話・訪問による相談 592件 （延1,871件） 実数内訳 認知症関連 65 件 介護保険関連 400 件 高齢者福祉関連 13 件 一般介護予防関連 13 件 医療関連 24 件 介護者の離職関連 0 件 その他 77 件
	② 時間外対応業務	② 12 件 ・医療機関同行訪問 ・緊急退院対応 ・退院前カンファレンス出席 ・安否確認 ・取手、利根、守谷地区研修会 ・認知症講座 ・介護相談（休日電話対応）

	③ 高齢者訪問 （旧：熱中症予防訪問）	③対象世帯　350 件 訪問・電話確認　329 件 不在　10 件 継続ケース　29 件 サービスにつながった件数 4 件
権利擁護業務	① 高齢者虐待対応 ② 相談業務	① 高齢者虐待対応　1 件 ② 窓口・電話・訪問による相談 20 件 （延 74 件） 実数内訳 成年後見相談件数　1 件 虐待相談件数　1 件 その他　18 件
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	① 専門職研修会 ② 介護支援専門員への支援	①「8050 問題から見た精神疾患について」 参加者　46 人 「判断能力のある方の支援について」（権利擁護） 参加者　33 人 ②　181 件

3 包括的支援事業（社会保障充実分）

事業内容	計画	実績
地域ケア会議推進事業	① 介護予防のための地域ケア個別会議の開催	① 地域ケア個別会議開催 専門職による助言をもらい要支援者のプランを検討した。 6 回　12 件 ② 地域ケア個別会議開催 困難事例について、ケース関係者と処遇検討した。 5 回　5 件

4 介護予防支援

介護保険の要支援1・2の認定を受けた方が、個々の状態に応じて自立に向けたサービスを提供していくためのケアマネジメントを実施した。

（包括直営）	25 件
（委託）	105 件
合計	130 件

○ 委 託 先: 17 件 (令和７年３月末現在)

5 総括【1年間を振り返っての気付き・課題】

事業名	気付き・課題
総合相談支援業務	・今後の生活に不安を抱える高齢者からの相談が増加した印象があり、その中でも介護保険サービスを利用して、身体機能の維持・低下予防を希望する相談が多かった。 ・高齢者が年々増加している現状で、介護支援専門員の数は変わらない。この現状において、予防の観点から介護サービスの希望者が増加することにより、現状の介護支援専門員の人数では、ケアプラン等の作成が間に合わずに必要とされる支援が遅れてしまうのではないかと懸念される。今後の課題として、相談者の自宅に訪問し、身体能力や生活環境等をアセスメントし、介護保険サービスやインフォーマルサービス等の説明、情報提供を行い必要とされる支援に繋がるようにしていく。
権利擁護業務	・身寄りのない高齢者が年々増加し、緊急入院時の手続きや他界時の対応に非常に苦慮していて、不安を抱えている関係機関が多い。緊急連絡先や身元引受人が不在、金銭的に余裕がない等の問題から、任意後見制度や死後事務委任契約などの利用が難しく、対応困難事例となることがあった。 ・包括支援センターでは、定期的に訪問し、関係性を築きながら、関係機関と情報共有し連携を図っている。今後、身寄りがなく金銭的に困窮している方への対応について他機関と連携を取りながら実施していく。
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	・介護支援専門員守谷地区会で行われている「個別事例検討会」に出席し、地域の介護支援専門員が抱えている、問題や状況を把握することが出来た。「身寄りのない高齢者」の緊急入院時や施設サービス利用時の手続きなどの対応に苦慮してい

	るとの声が多く聞かれ、「8050 問題」では家族がパワーレスのため介入困難な事例が増えている。必要時、各関係機関と情報交換や情報共有を行い、困難事例会議を開催している。また、各介護支援専門員の知識の向上を図るため、専門職研修等を開催している。今後も困難事例会議や専門職研修を継続していく。
地域ケア会議推進事業	・自立支援に向けた地域ケア個別会議では、各専門職の助言者より口腔内、栄養面、服薬、身体機能等の助言を受け必要な支援の検討を行った。助言者間での質疑応答や、見学者を含めた意見交換を行う時間を取り入れた。また見学者から、事例の振り返りを希望する意見も聞かれたことから、会議においてモニタリングを含めた事例に対する振り返りを行い、自立支援に向けた助言等が介護予防計画書に反映されたのか確認をしていく。
その他課題	
相談の中で運転免許返納後の生活についての不安を感じている方が多い。生活の足を失うことによって高齢者の生活の活動範囲が狭まり、フレイル傾向がすすむ可能性が高くなる。交通手段の確保や買物支援等の対象者の環境を確認した上での支援が求められるため、必要な体制を考えていく。	